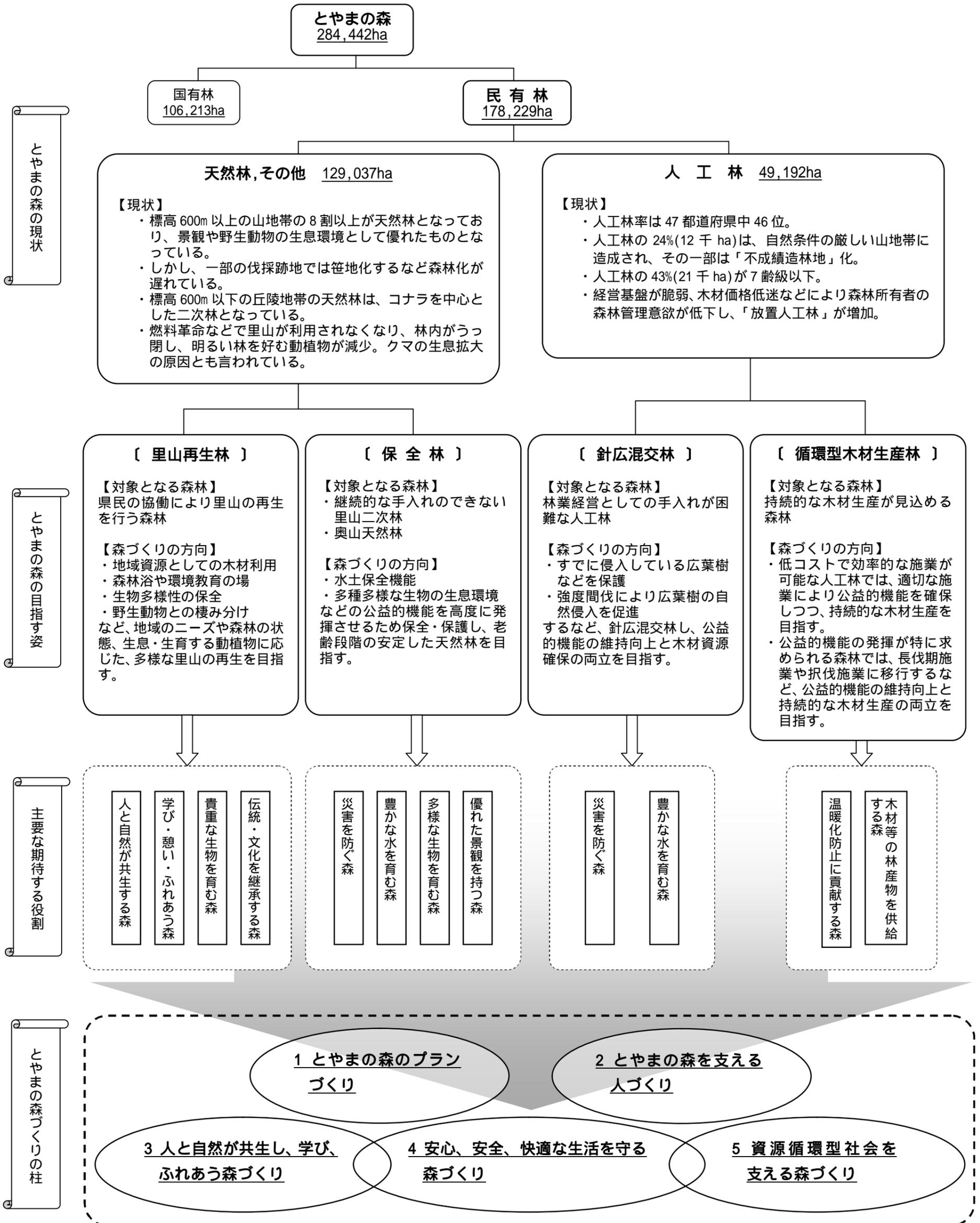


「とやまの森づくり」の推進方策に係る検討の視点



「とやまの森づくり」の推進方策に係る検討の視点

～ 現行施策と新たな取り組みの検討案 ～

：主な現行施策

：新たな取り組み(案) (既存施策の拡充や新規に取り組むもの)

1 とやまの森のプランづくり

豊かで美しく県民のためにとやまの森を守り育てるための計画づくりと、その実行・評価・改善を県民参加により推進することが必要です。

県民の参画によるとやまの森のプランづくり

森林法に基づく地域森林計画等の策定

- ・ 県の地域森林計画（伐採、造林、林道、保安林の整備目標など）の策定や市町村森林整備計画の策定支援。
- ・ 森林所有者が自主的に認定を受ける森林施業計画の策定への支援。

県民参加でとやまの森づくりを進めるためのプランの策定

- ・ 「とやま水と緑の森づくり基本指針」と全県的な森づくりの計画の大枠を示す「とやま水と緑の森づくりプラン」の策定とその周知。
- ・ 「森づくり協働会議」の開催により幅広い市民との合意形成を図り、森林整備の具体的実行計画である「市町村森づくりプラン」を策定するための支援。

森づくりプラン策定を支援する森林情報の整備・提供

- ・ とやまの森の状態や森林整備活動の取り組みについて広く情報を発信し、森づくりプランの策定を支援する「とやまの森づくり総合情報システム」の整備。

とやまの森のプランに基づく森づくりの評価・改善

県民参加によるとやまの森づくりの評価・改善の推進

- ・ とやまの森づくりに関して計画・実行の評価を行い、改善の提言を行うことにより、より実効性のある森づくりを推進する「とやま森づくり推進委員会」の設置。

2 とやまの森を支える人づくり

豊かで美しく県民のためにとやまの森を支える人づくりや地域づくりを推進することが必要です。

とやまの森を支える人・組織づくり

林業人づくり対策事業

- ・ 森林・林業に関する広い専門的知識や技術を有する森林管理技術者の養成。
- ・ 林業担い手の育成・確保を図るための広報活動や求人求職情報の収集・提供。
- ・ 森林整備に必要な知識や技術を有するボランティアを養成・活用し、県民参加の森林づくりを推進。

林業労働対策事業

- ・ 林業労働者の安全衛生対策、就労環境の整備を図るとともに、林業労働者の定着促進・育成及び県民参加の森林づくりに関する諸対策について助成。

森林組合育成指導

- ・ 森林組合の健全な発展・経営基盤強化のための指導・研修や森林境界明確化への支援。

森林ボランティアの活動促進

- ・ 「とやまの森づくりサポートセンター」を活用した、活動グループ間の連携や専門家による技術的なアドバイスの実施など、森林ボランティア活動への幅広い支援。

とやまの森を支える県民の意識醸成

森林・林業の普及啓発

- ・ 花とみどりの少年団の活動に対する支援。
- ・ 「とやま森の祭典」等の開催。
- ・ フォレストリーダーを活用した県民に対する森林教室の開催。
- ・ 流域を単位とした地域社会全体で森を守り育てる体制づくりと森林整備の推進。
- ・ 有峰森林文化村における語り部講やレンジャー活動など森林文化活動の推進。

森林環境教育の推進

- ・ 学校や教育機関と連携した森林環境教育の指導者の育成。
- ・ 次代を担う子供たちに森林の大切さを普及啓発するための、森林の大切さを教える副読本の製作・配布や県産材を使用した木工キットを配布・製作など。

森林の大切さの普及・広報活動の推進

- ・ 多くの県民に森の大切さを普及・広報するため、「森づくりシンポジウム」「森のクラフト展」などのイベントを総合的に実施する「とやまの森づくり博覧会」の開催。
- ・ 森林に触れ体験することで、森林の働きや、整備・保全の必要性などを普及啓発する、森をめぐる森づくりを体験するバスツアーや森の清掃活動への支援。
- ・ 「森の美術館」「森のコンサート」の開催。
- ・ 森林の働きや、整備・保全の必要性などを広く県民に普及啓発する、広報誌・ビデオ等の製作・配布。
- ・ とやまの森林の豊かさなどの情報を発信するホームページの充実。
- ・ 近年、注目されている森林療法など、森林の新たな効用のPR。

3 人と自然が共生し、学び、ふれあう森づくり

地域資源としての木材生産や森林環境教育の場など地域のニーズや森林の状態、生息・生育する動植物に応じた多様な「里山再生林」を整備するとともにその利活用を推進することが必要です。

県民協働による里山の再生整備や利活用の促進

県民が主体となって行う森づくり活動の促進

- ・ クマとの棲み分けや景観の改善などの里山整備や竹林の整理などの森づくり活動への支援。（地域住民の協力による里山空間再生モデル事業など、平成17年度から一部実施）
- ・ 森づくり活動のフィールドを設定するための森林境界の確定や森づくり協定の締結への支援。
- ・ 県民が主体となって行う森づくり地域活動のリーダーとなる人材の養成。
- ・ 地域における森づくりのための作業計画策定への支援。
- ・ 様々な里山の整備・管理方法の調査・研究の推進。

伐採制限や利用権の開放などを前提とした里山整備の促進

- ・ 公益的機能の発揮が特に期待される里山に対する、伐採制限や利用権の開放などを前提とした、里山の再生や竹林の整理の促進。

野生生物との共生

- ・ 人とクマとの共生を目指すための被害防止や保護対策。（暫定指針の作成など、平成17年度から一部実施。）

4 安心、安全、快適な生活を守る森づくり

災害防止や水資源のかん養など様々な公益的機能により、県民の安心・安全・快適な生活を守っている「とやまの森」の適切な整備・管理・保全を推進することが必要です。

持続的な手入れが困難な人工林の整備・管理

治山事業（復旧治山、地すべり防止、なだれ防止林造成など）・保安林の整備管理

- ・ 森林の公益的機能を高度に発揮させるための、保安林等における森林整備や防災施設整備。

自然の遷移に委ねた天然林の保全・管理

治山事業・保安林の整備管理（再掲）

森林病虫害等防除

- ・ 松くい虫やカシノナガキクイムシ等被害木の伐倒防除。

公益的機能の発揮が求められる天然林における新たな保全・管理の推進

- ・ 広大な天然林の効率的な保全・管理のための、ボランティアによる「とやまの森づくり巡視員」の設置や高解像度衛星写真等の活用。
- ・ ダム上流など公益上非常に重要な天然林の公的管理。
- ・ 病虫害被害地や森林火災跡地の復旧。

公益的機能の高い森づくり技術の研究・開発

林業技術の開発研究

- ・ 里山二次林における広葉樹育成技術の開発やカシノナガキクイムシ被害防除技術の確立。 など

とやまの森の新たな保全・管理技術の活用

- ・ リモートセンシング技術 を活用した森林病虫害被害の早期発見など、新たな森林の保全・管理方法の実施や、針広混交林整備マニュアルの作成。

地球観測衛星などのように遠く離れたところから、対象物に直接触れずに対象物の大きさ、形、性質を観測する技術

5 資源循環型社会を支える森づくり

循環型社会の構築や地球温暖化防止などの役割を果たしている「循環型木材生産林」における持続的な木材生産と生産される木材や間伐材などの利活用を推進することが必要です。

持続的な木材生産の推進

森林整備事業（造林事業）

- ・ 森林が有する多様な公益的機能の発揮のための間伐等の計画的な実施や間伐材搬出の促進。
- ・ 森林所有者の自助努力を促すことによる、手入れが遅れている人工林の間伐・枝打ちの促進。
- ・ 森林施業と一体となった作業道を整備するなど効率的な基盤整備への支援。

林道事業

- ・ 林業の効率的経営と森林の適正な維持管理を図るための林道の開設や既設林道の改良への支援。

森林整備地域活動支援交付金事業

- ・ 森林の木材等生産機能に加え公益的機能を高度に発揮させるため、森林所有者等による適切で計画的な森林施業の推進を図るための支援。

県産材等の木質資源の利用促進

地域材の振興

- ・ 木材関連事業者の体質強化への支援。
- ・ 設計・工務店関係者を県産材アドバイザーに認定し、木造住宅への県産材利用の促進。
- ・ 県産材の需給情報を発信し、県産材の利用促進を図る「とやま県産材情報システム」の運営。
- ・ 間伐材を利用した学校用木製机・椅子の導入に対する助成。

木材産業等への資金の支援

- ・ 木材産業の設備導入への助成や運転資金等を対象とした低利融資。
- ・ 林業者等の経営改善のための無利子融資。

資源循環型社会を支える森林・林業技術の開発研究

木材加工利用技術の開発研究

- ・ 県産スギを活かした積雪、地震に強い住宅工法の開発。
- ・ 木質廃材等のエネルギー利用技術の開発。 など

林業技術の開発研究

- ・ 雪害に強いスギ人工林育林技術の普及啓発。
- ・ 森林における炭素吸収量並びに酸性雨による森林衰退調査。 など

取り組みの柱	取り組みの内容	「主な現行施策」と「新たな取り組み(案)」		H17予算額(千円) ()は再掲
4 安心、安全、快適な生活を守る森づくり	自然の遷移に委ねた天然林の保全・管理	現行施策	治山事業・保安林の整備管理 ・森林の公益的機能を高度に発揮させるため保安林等で森林整備や防災施設整備を実施 ・保安林の指定・解除調査、保安林の制限行為許可 など 森林病虫害等防除 ・松くい虫やカシノナガキクイムシ等被害木の伐倒防除 など	(4,379,273) 5,199
		新たな取組	公益的機能の発揮が求められる天然林における新たな保全・管理の推進 ・とやまの森を監視するボランティアによる「とやまの森づくり巡視員」の設置や高解像度衛星写真等の活用 ・ダム上流など公益上重要な森林の公的管理 ・病虫害被害地や森林火災跡地の復旧	
	公益的機能の高い森づくり技術の研究・開発	現行施策	林業技術の開発研究 ・里山二次林における広葉樹育成技術の開発 ・カシノナガキクイムシ被害防除技術の確立 ・コンテナポットを用いた県内産広葉樹の苗木生産技術開発	15,853
		新たな取組	とやまの森の新たな保全・管理技術の活用 ・リモートセンシング技術を活用した森林病虫害被害の早期発見など新たな森林保全・管理の実施 ・「針広混交林」の造成・管理技術の研究及びマニュアルの作成	
5 資源循環型社会を支える森づくり	持続的な木材生産の推進	現行施策	森林整備事業(造林事業) ・地球温暖化防止をはじめとする森林が有する多様な公益的機能の発揮のための間伐等の計画的な実施や間伐材搬出の促進 ・所有者の自助努力を促し、手入れ不足人工林の間伐・枝打ちを促進 ・森林施業と一体となった作業道の重点実施 林道事業 ・林業の効率的経営と森林の適正な維持管理を図るための林道・作業路等の開設・改築や既設林道の改良への支援 森林整備地域活動支援交付金事業 ・森林の木材等生産機能に加え公益的機能を高度に発揮させるため、森林所有者等による適切で計画的な森林施業の推進を図るための支援 林業普及指導推進事業 ・手入れ不足森林の所有者に施業を促す情報の発信や施業指導等の徹底 県営林事業 県営林の生産増大・生産性の向上を図り、併せて森林の公益的機能を高めるための保育管理の推進	665,300 1,902,505 75,545 (3,500) 92,489
		現行施策	地域材の振興 ・県産材普及活動の推進 ・木材関連事業者の体質強化への支援 ・設計・工務店関係者を県産材アドバイザーに認定し、木造住宅への県産材利用の促進 ・県産材の需給情報を発信し、県産材の利用促進を図る「とやま県産材情報システム」の運営 ・間伐材を利用した学校用木製机・椅子の導入に対する助成 木材産業等への資金の支援 ・木材産業の運転資金等を対象とした低利融資 ・木材産業の設備導入への助成 ・林業者等の経営改善のための無利子融資	6,934 172,486
	資源循環型社会を支える森林・林業技術の開発研究	現行施策	木材加工利用技術の開発研究 ・県産スギを活かした積雪、地震に強い住宅工法の開発 ・木質廃材のエネルギー利用技術の開発 ・表面改質技術による県産スギ内装材の開発 ・木材液化物によるリサイクル断熱パネルの開発 ・県産材の大断面異樹種積層材の構造・設計技術の開発 ・新しい木質積層材の開発と技術基準の確立 林業技術の開発研究 ・雪害に強いスギ人工林育林技術の普及啓発 ・森林における炭素吸収量並びに酸性雨による森林衰退調査 ・カワイダニスギ林における冠雪害の危険度判定法の確立	35,683 (15,853)
				7,617,488